

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		第二回豊島区教育ビジョン検討委員会幼児教育部会 (幼児教育のあり方検討委員会《第 2 次》)
事務局(担当課)		庶務課
開 催 日 時		令和 6 年 5 月 17 日(金) 16 時 30 分～17 時 30 分
開催場		豊島区役所 507 会議室
議 題		1. 幼児教育について 2. 豊島区の幼児を取り巻く状況変化及び今後の進め方について 3. 【平成 30 年発行】豊島区の幼児教育のあり方検討委員会最終報告書で示された 施策について 4. 保幼小連携について 5. 幼児教育センター的機能について
公 開 の 可 否	会 議	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開 傍聴人数 0 人 非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会議録	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開 非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員 (敬称略)	田代 幸代 箕輪 潤子 角本 史夫 山口 範子
	その他	教育部長、障害福祉サービス担当課長、子ども若者課長、子育て支援課長、子ども家庭支援センター所長、保育課長、保育政策担当課長、保育支援担当課長、庶務課長、学務課長、指導課長、教育センター所長、区立幼稚園長
	事務局	教育施策推進担当課長
欠席		区立小学校長

審 議 経 過

発 言 者	発 言 要 旨
教育施策推進課長 (事務局)	挨拶 昨年度から変更した委員の紹介
田代部会長	幼児教育は人格形成における最も重要な時期と言われております。すべての学校教育の基盤を担っている時期の教育です。 ここで、幼児教育について、検討したことがこれからの未来の豊島区を創っていくということでしっかりと進めていければと思います。
事務局	(説明) 会議の公開について 会議録の公開 本日の傍聴希望者はいません。
田代部会長	議事番号1から3について事務局より説明をお願いいたします。
事務局	(議事1～3の説明)
田代部会長	議事番号1～3まで説明していただきました。 ご意見ありますでしょうか。
A 委員	幼児教育を取り巻く状況が変わっていく中で、幼稚園がどういう風にあるのかというところを改めて検討しなければいけないと思っています。 一方で、認定こども園の検討におけるプロジェクトの進捗状況は、進捗度が×と△がとて多いですが、今回のあり方検討委員会では、現実的にしっかりと次に繋がる内容を話しあっていかなければいけないと思います。 また5年後の検討委員会までに、教育の質において、子どもたちのためにも豊島区として課題を残さないよう検討していく必要があると思いました。 そのため、認定こども園がどうかというところではなく、幼児教育のあり方について今後進めていけるようこの場で検討できたらいいと思います。

田代部会長	区立幼稚園の外国籍と特別支援の園児数の推移を拝見いたしまして、かなり割合が高く、多くの特別支援のお子さんと外国籍のお子さんが在籍している状況であるとわかりました。 今日、豊島区立池袋幼稚園の園内研究会に行っておりましたが、在園児の多くが特別支援か外国籍であり、日本語でのコミュニケーションに難があるお子さんがいらっしゃる状況の中、担任の先生方がお一人お一人に心を配りながら、クラスをまとめているところ拝見してきました。 そういった状況を踏まえ、特別支援や外国籍の子どもたちが区立幼稚園に在籍している現状も、今後どうしていくか考えていく中で大きな要因となっていると思います。 また、A委員と同様にこれからは区として幼児教育の質をしっかりと上げていく取組を行っていただきたい。 その際、現代の子育て状況や家庭の状況、子どもたちの状況に合わせてよりよい見直しをしていただければと思います。 5、6年前の状況で考えられていたことが、今でも通用するのかどうかを改めて検討していただき今の豊島区に最もいい形で、そして幼児期の教育が小学校に接続していけるような施策を打ち出していければこの委員会の意味があるのではないかと感じております。
O委員	今回は、教育ビジョンの検討委員会の中で幼児教育について考えるということで、これは公立幼稚園に特化した話し合いなのか私立幼稚園・保育園も含めて豊島区の幼稚園教育・幼児教育全般を考える会議なのか教えていただければと思います。
教育施策推進課長	本部会ですが、公立のみではなく区のすべての就学前の子どものことを考える幼児教育として位置付けているものでございます。
事務局	(議事4の説明)
田代部会長	資料4の図の赤枠に区立保育園・私立保育園・区立幼稚園・私立幼稚園・地域型保育すべての就学前保育教育施設が入っています。 ぜひ、令和6年度の各研修会やスケジュールにも私立幼稚園や区立保育所すべての就学前保育教育施設にご案内・お声がけができるように考えていただければと思います。
事務局	令和6年度については、すべてに園にお声がけご案内する予定でございます。
田代部会長	先ほど、O委員からもご質問が出たように、子どもたちが就学前にどのような保育施設・教育施設に通っていたとしても質の高い教育を受けることができるように保育施設間での連携を進めていくことは重要であると思います。 そこでの子どもたちの学びが小学校へと接続していけるように研修会などを企画していただくことは大変重要であると思っています。
A委員	保育園と幼稚園の連携が実際に進められている園もありますので、それぞれの連携をどんどん広げていただければと思います。 また、O委員にお伺いしますが、私立幼稚園も一緒に連携をすることで、子どもたちの育ちにつながっていくと思いますが、公立の事情と私立の事情は違うところもあると思います。どのようにしたら連携がさらに進んでいくかというところをぜひご意見いただけたらと思います。
O委員	ちょうど同じことをお願いしようかと思っていました。 ぜひ私立幼稚園も保幼小連携に向けた全体会等にお声がけいただきたい。 私立幼稚園各園で建学の精神がそれぞれありますので、いろいろな事情がございますけれども、豊島区の幼稚園の子どもたちのためにということで、力を合わせて内容を協議しながらやっているところです。そのため、ぜひこういう会に混ぜてもらえれば

	と思います。 区立幼稚園と私立幼稚園がそんなに違っている内容をやっているとは思いません。今うちに 27 名 3 歳児の新入園児がいますが、支援が必要だと思われるお子さんがすごく多くて、27 名に対して全員有資格者の常勤教員 7 名が張り付いて保育している状態です。ですから今、すごく大変になってきています。私どももどうやって前に進んでいくか悩んでいるところなので、そういったところもぜひ考え方を共有していただけるとありがたいです。
C 委員	5 月 28 日に私立と区立の地域型保育所が集まって連携していく機会がありました。私立幼稚園の 3・4・5 歳の子が同じ教育をうけて、小学校に上がることは小学校側にとっても大事なことだと思います。 保育園のことは知らなかったですが、これだけ特別支援の必要がある園児が幼稚園にいることを初めて知りました。昨年、さくらそう保育園でも 26 名の 5 歳児のうち、8 名が支援の必要な園児でした。そういった中で、複数名の担任が必要であったり、保育士不足していたりでどのように安全をまもって保育をしていくかが課題となっております。 また、7 時 15 分から 20 時 15 分までの長時間保育もあるので、そういったところで安全を守ることや園児をすべて理解していくことが課題となっているため、幼稚園と繋がっていけるといいと思っています。 保育園は特に設備の面で、幼稚園は園庭があることが基準ですが、園庭がない保育園が約 8 割あるということです。公園の整備は進めていただいているが、もし幼稚園との交流があると保育園の子どもも幼稚園の園庭を使えるのでお互いにいいのではないかと考えています。 また、東京都のほうでは体験型と自然と触れ合うことをすごく大事にしていますので、そういったところでも一緒に取組ができればいいかなと思っています。
O 委員	コロナ前は、私どもの幼稚園の前を保育園さんが散歩で通ると中に入って休憩したり、一緒に 5 歳児でドッチボールしたり交流がありました。 コロナでそういった交流が全くなかった。ですから、私立幼稚園側も近くの保育園と交流を持ちたい幼稚園がたくさんありますので、今後話ができればうれしいと考えております。
田代部会長	保育施設間の連携が本当に大事になってきますし、スケジュールで示していただいているようにいろいろな研修会や会を区として開催していただく中でそういったつながりが作れることで区全体の幼児教育が良くなっていく方向へ進んでいく気がしています。
区立幼稚園長	区立幼稚園も私立幼稚園と一緒に進んでいきたいと思っています。 公立幼稚園は、自分たちで地域の拠点となる機能を果たしたいと思っています。 現場でも一緒に連携できる機会など公立幼稚園で企画していますが、3 園（西は南長崎幼稚園、中央は池袋幼稚園、東は西巣鴨幼稚園）ありますので、その 3 園を拠点に活動していただいて、幼児教育の質というところで、つなぐ役割を果たしていきたいと思っています。 また、小学校とつなぐことは今までの積み重ねがありますので、モデルパターンの情報提供や実際の取組にかかる情報も提供できるかと思います。 また、特別支援については、今まで積み重ねた資料もありますし、外国籍のお子さんについても毎日やっていることですので豊島区の幼児教育の拠点として、情報提供し繋いでいきたいと思っています。 令和 6 年度のスケジュールをいただきましたので、つながりをよくしまして、そしてまた実践をするのは幼稚園・保育園・こども園といった実際の現場なので、連携を強化し、実践につなげていきたいと思っています。 実践に落ちるまでの間、特に公立幼稚園の学校教育の場としても連絡役の役割を果たしていきたいと思っています。

教育施策推進課長	昨年まで、池袋小学校エリアでも実施しておりまして、今年度は西巣鴨小学校エリアでも拡大していきたいと思っております。 また、O 委員と C 委員の話にもありましたコロナで途絶えてしまったということもありますので、コロナの前に戻れるように引き続き検討してまいりたいと思っております。
事務局	(議事 5 の説明)
田代部会長	私も杉並区と世田谷区はよく存じ上げています。例えば成田西子ども園さんは、ホールの横からドアを開けると、その階段からセンターにつながっていくような一体的な施設になっております。区で研修会を開くときには、会議室をお借りしなくても成田西子ども園さんのホールがそのまま研修会場になったり講演会場になったりします。 そこで保育も行われておりますので、小学校の先生などがそこで実際に保育をみながら研修会をするなど、就学前教育支援センターがかなり活躍をされていて、区内の教育の横同士の連携や保幼小の接続をすごく進めているという実感がございます。 また、世田谷区でも、幼稚園の管理職だった先生がこの教育支援センターで研修の計画や現場に詳しい講師の先生方をお呼びした研修を展開するような状況がございます。 このような充実したセンターをぜひ豊島区でも考えていただけたら、就学前教育が充実していくのではないかと思います。
A 委員	幼児教育センターを検討するにあたって、委員の先生方や現場の先生方からのアイデアを活かして具体的考えていく必要がある。 今、区立幼稚園で幼児教育センター的な機能を考える上で、それぞれの就学前施設の基準である幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育保育要領の保育内容のところは同様であるが、0, 1, 2歳の保育の部分、3 歳 4 歳 5 歳の幼稚園の部分では幼稚園の教育と保育所の保育のところで、子どもたちがいる時間や年齢など、実際に子どもたちがどう過ごすかというところにおいては、やはり違う部分もあります。 従って、機能をもたせるときには、区立幼稚園の幼児教育センター機能のところに保育側の先生たちのご意見などを反映させることによって、連携がさらに進んでいくのではないかと思います。 その点、世田谷区では公立の園長先生や保育園の先生だった方が教育センター的な機能を長く担われていて、公立の幼稚園と保育園をどうつなぐかというところを長期にわたって担っているの、豊島区でもその部分を考えていただけたらいいのかなと思います。 幼児教育も保育も長期間かけて、理解しあっていく部分や気づいていかなければいけない部分があるので、人事がすぐ変わってしまうと継続しづらいので、そのあたり区としては仕方がない部分もあると思うのですが、ある程度長期的なスパンで人が専門性を高めていける仕組みがなんとかできないものかと思いました。
教育部長	人事については、異動基準がありますが、専門の事業を担当する職員については様々な雇用形態がありますので、長くいていただけるような人事は可能であると考えています。 昨日、大田区の幼児教育センターに行ってきました。そこは機能だけで教育委員会の中にセンター機能を位置付けて研修や事業を行っていました。 一番人気のある事業、参加率の高い事業はなんですかという質問をしました。 そうしたら小学校の先生(来年担任になる予定の先生もしくは 1 年生の学年主任になる先生)が来て私立幼稚園・私立保育所・区立幼稚園・区立保育園の先生方と情報交換をする場がほぼ100%の参加率ですごくこれが大切だととても好評なのだそうで

	す。 それぞれの園のお子さんの情報交換をして、それを小学校の先生が受け取って、それぞれ児童の特性をお互い知っていく、さらにその後また入った後も情報交換をする場があるということで、これは豊島区もすぐにできる事業であると感心しました。
A 委員	去年目白小学校に行きまして、その時に小学校の方で保育園・幼稚園に声をかけて、協議会を独自に行っているというお話がありました。小学校発信の取組もあると思いますので、そういった情報を集めながら既にそれぞれの園や学校で考えていることを実現できるようにしてほしいと思います。
O 委員	こないだの 2 月にうちからは少し距離がありますが、巣鴨小学校の校長先生からお声がかかりまして、うちの幼稚園ともう一つの幼稚園、近隣の公私立の保育園の園長さん 10 数名で意見交換をしました。 そこで、ぜひ小学校の事業を年長児が見にいきたいとか小学校の先生も良かったら見に来てくださとかそういう意見交換をさせていただきました。 いろんな小学校とそういった意見交換ができると嬉しいなと考えています。
田代部会長	いろいろ情報提供をありがとうございました。 それぞれの学校や園で、子ども達にとって必要なことを率先して進められている状況があるということがよくわかりました。 そういった取組を区内全体的に広げていく、そして区としてフォーマルに進めていかれるようになっていったらさらにいいのではないかと思います。 本日委員の皆様からいただいた意見を踏まえてまた次回以降の資料作成と検討・作業を進めていただきたいと思います。